

平成 29 年度

福工大ビオトープ・自然観察会

ビオトープ研究会

(福岡工業大学社会環境学部)

平成 29 年 12 月

萱野 恭平	社会環境学部 (3年)	会 長
塚本 理晋	社会環境学部 (2年)	副会長

石橋 隆	社会環境学部 (4年)
今泉 加那恵	社会環境学部 (4年)
栗原 優太	社会環境学部 (4年)
杉本 涼介	社会環境学部 (4年)
岡山 匠	社会環境学部 (4年)

上野 由里代	社会環境学部 (3年)
江口 恵太郎	社会環境学部 (3年)
栗田 航平	社会環境学部 (3年)
千原 佳晃	社会環境学部 (3年)
樋口 拓樹	社会環境学部 (3年)
山崎 貴光	社会環境学部 (3年)
武本 和虎	社会環境学部 (3年)

足立 拓巳	社会環境学部 (2年)
井上 景雲	社会環境学部 (2年)
大澤 佳代	社会環境学部 (2年)
木下 澄香	社会環境学部 (2年)
塚本 理晋	社会環境学部 (2年)

坂井 宏光	教授 (社会環境学部)	顧問
-------	-------------	----

目次

2017年 4月29日（土・昭和の日）	第44回自然観察会	3
2017年 7月8日（土）	第45回自然観察会	14
2017年 10月14日（土）	第46回自然観察会	22
2017年 12月9日（土）	第47回自然観察会	29

第44回自然観察会

第44回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ

※福田工業大学・和白泉介学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

福工大ビオトープと里山の自然観察会と30分のお菓子作りを行います。
春のビオトープや里山の石巻などを一緒に楽しみませんか？

対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
学生及び大学関係者の皆様

日程・場

日程: 4月29日(土・昭和の日) 9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所: 福田工業大学A棟1階A12教室
(技門から入って一番奥の建物)



お申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

問い合わせ

福田工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.: 092-606-6188
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2017年4月29日に実施した春の自然観察会の事前告知。

第 44 回自然観察会の概要

「春に身近で食べられるこんな野草」

めあて：味覚で春を感じよう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール
日時 9:30~12:00
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生
参加者 41名
自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 ((有)クラバード)

【活動内容】

8:30~9:30 研究室集合・観察会準備・観察会準備

9:30~9:50 開会挨拶(坂井宏光教授)

9:50~10:30 収集・観察

9:50~11:50 調理、食事、まとめ

11:50~12:00 レポート

観察終了後研究室で反省会。



第44回自然観察会の意見・感想

【学生】

A

初めてビオトープという環境を見て小規模ながら自然の生態系を十分に見ることができ、たくさんの生物や植物を観察することができた。
ヨモギもちを食べてみてその風味を感じることができた。

B

今日自然観察会をして、ヨモギを食べたりして、楽しかったです。
団子もおいしかったです。

C

今回のゼミ活動で実際に自然に触れることで、たくさんの生き物や植物に触れ合うことができました。このような機会は、今ではめったにないので、とても新鮮な感じがしました。
また、ヨモギを使った料理も自分で作ってみたいと感じました。

D

初めて自然観察会に参加してみて、幼少期を思い出した。
ヨモギを使ったホットケーキ、団子はとてもおいしく春を感じられた。五感をフルに使って楽しむことができた。
初めて見た植物、生き物を見られてよかった。

E

ホットケーキがおいしかった。
草団子やビオトープで春をフィーリングできたので楽しかった。

F

今回の自然観察会で一番驚いたのは、アワフキという虫です。
アワフキという虫は自分の身を守るためにアワを吹いていることがわかりました。
ヨモギも食べて、苦かったけれど、おいしくいただくことができました。

G

ビオトープでは、季節の動物や植物を見られて、春を感じる事ができた。
見ただけではわからなかったけれど、食べる野草もたくさんあって驚いた。
しゃがんでみると、多くの昆虫がいて面白かった。
ヨモギもちやホットケーキも、食べると口の中に香りが広がっておいしかった。

H

今日の研究では見たこともない植物・昆虫を見ることができました。
その後のヨモギを使ったパンケーキ・団子を食べました。
とてもおいしかったです。

I

ビオトープでは、春の草木を観察することができた。
ヨモギがおいしかった。
トンボやモンシロチョウが飛び始めていて春を感じるすることができた。
草や花のスケッチができて楽しかった。

J

今日はビオトープ観察から始まり自分たちで積んだヨモギをビオトープ研究会の人や専門家の人たちに調理してもおいしく食べることができた。ビオトープ観察では、最初にアワフキ虫を見つけることができた。枝と枝の間についていた栗を枝でつつくと中から赤色のテントウムシのような虫が出てきてとても感動した。ほかには、イトトンボやチョウトンボ、見たこともない虫がいて子供の時に感じた楽しみを思い出した。
食事会では、ヨモギを団子とホットケーキにして食べさせてもらった。ヨモギの団子は臭みがなく市販されている団子と遜色ないように思えた。ホットケーキは若干の苦みがあって大人の味がした。このような経験がとてもよかった。またやりたいと思う。

K

たくさん自然のものに触れられてよかった。
虫たちが多くいて口の中に入ったりして、大きな声のでた。
あわふきという草の泡がズボンについていていやだった。
ヨモギを食べた。
最後の専門家の話によって、じっさいに見たものなどがよりくわしくすることができ、深めることができた
い分が見た植物や生き物のほかにもたくさんあったようだから、次回はくまなく見つけた
い。

L

今回の自然観察会ですが、初めてビオトープに行って自然と触れ合えてよかった。最近あのようなしぜんにかこまれることが減多になかったので楽しかった
自分たちで採ったヨモギを食べる機会はあまりないと思うので、よい経験になった。

M

今日の久々の自然観察会は、ヨモギの採取これを食べることでした。ヨモギはいい香りがしました。ホットケーキもヨモギの香りでもいい味がしました。

N

今回の自然観察会では、去年やった自然観察会と同じことをやったので特に新鮮味はありませんでしたが、皆で一つのヨモギ採取と自然観察を行っていたので、一体感がありました。

外部からの参加者もいて、この活動が地域の方々と密接な関係にあるんだと思いました。参加者の数は見た限り多くはありませんでしたが、それぞれヨモギホットケーキやヨモギ団子をおいしくいただけただけなので、楽しい自然観察会になりました。

O

春の自然観察会は生物たちも元気で気温も気持ちの良いものでした。ヨモギがより細かく分散されていたのが要因だと思います。

楽しかったです、ありがとうございました。

P

5回目の自然観察会に参加して、天気が良くて暑かったがたくさんの生き物を見られてよかったです。また、前回にヨモギを採取した時よりも、すらすらと探すことができたので良かったです。次は夏の観察会ですが、見たことのない生物も見られるように積極的に観察していきたいと思います。食べた感想としては、ビオトープに咲いているヨモギを実際に利用して少しヨモギの香りがしてすごくおいしかったです。

Q

今回の自然観察会の感想として、前回の春の観察会を経て植物に関する知識が増え、より一層自然に対する関心が深まったと実感したということがあります。

前科の春の自然観察会では自然の中には思っている以上に食べることができるものがあるのだなということを思ったのですが、今回は前回の自然観察会で学んだ知識があったため前回の自然観察会で知った野草以外のものを探すという目標を立て、観察に臨みました。結果的に前回の観察会で知ったもの以外は見つけれませんでした。ウマノアシガタの種実を始めてみることができ、ではほかの植物の種や実はどうなっているのだろうと思い自然に対する関心が深まったと実感できました。

また、今回食べたヨモギ団子に黒っぽいものと緑っぽいものがあったことには気づけていたのですが、どのような違いあるのかはわかりませんでした。しかし、後の専門家の説明でアクを抜いているかどうかという違いを知って、アクを抜くということにこのような意味があるのかと感心しました。

R

天気が良く、多くの生き物を見ることができた。ヨモギを使ったホットケーキと団子も味覚で自然を感じる事ができて、良い経験ができた。夏・秋・冬の自然観察会にも参加したい。

S

今回、初めて自然観察会に参加させてもらいましたが、日ごろから自然に触れる機会が減っている中で、こうした形で自然に触れることが出来てとても良い経験になったと思います。

また、機会があれば参加したいです。よもぎもちがおいしかったです。

T

先日雨天時の観察を行ったが、その時とは又ちがい様々な生物を観察することができた。地域の方の姿も見え、ビオトープの野草を使った料理はおいしく、良い雰囲気でも過ごすことができた。

U

ヨモギはよく見ていたが、そんなに食べられるのは思わなかった。自然環境の中でたくさんの恩恵を恵まれることが分かった。いい体験でした。ヨモギで作ってくれた食べ物もおいしかったです。

V

専門家の方に四つ星トンボという珍しい種類を教えてくださいました。

また、クサイチゴ、タンポポ（葉、根）クズ、ヨモギ、カラスノエンドウ、スイド、ツワブキ、アケビ、ナエシログミは食べられる聞き、今度ぜひ実食してみたいです。

今回はヨモギのすりつぶしと白玉作りをしましたが、楽しい経験になりました。

また、白玉をこねるときのコツを学びました。

W

教は、今年度最初の自然観察会であった。今週は水曜日に一回環境基礎演習で里山・ビオトープに入って観察したが、あいにくの雨であった。しかし、今回は改正で絶好の観察日和で、様々な生き物を見ることが出来、またおいしいヨモギのパンケーキ、団子も食べることもできた。

私達はまずビオトープに入り、ヨモギの採取を行った。ヨモギの新芽を採るということであったが、ヨモギと他の葉との見分け方として、葉の裏が白いという違いがあることを知った。ビオトープで観察された生物としては、晴れていたということもあって、様々な生き物が観察され、春の訪れを感じさせる活発な動きが見られた。今回特に印象的だったのが、アワフキムシという虫で、ビオトープ周辺で数多く見られた。幼虫が作る泡は、粘り気があり、正直気持ち悪かったが、なかなかこのような虫に触れる機会はないので良かった。他に見られた生物としては、チョウトンボ、ゾウムシ、トンボ、アブラムシの大群、ヤマトアブなどが見られた。

そして、今回のテーマであった春の野草を食べるということで、去年は私自身あまり食べられなかったので楽しみにしていた。私はヨモギのパンケーキとヨモギの団子を食べた。パンケーキはヨモギの味がほんのりして、おいしかった。ヨモギの団子も若干苦みは感じられたものの、おいしく食べられた。今回は普段できないような経験ができたので、次回も貴重な経験をしたい。

X

自然観察会は何回か、やってきて、ヨモギを食べるのも久しぶりだった。おいしかった。季節によって見られる昆虫が多くいた。トンボも孵化して飛んでいた。天気も良かった。チョウやハチが飛んでいた。

タンポポやウマノアシガタが咲いていた。

水辺にトンボがよく飛んでいた。ヨモギを食べて、味の違いも分かって、自然を味わうことが出来ていい体験になった。味が濃いヨモギは少し苦手だった。

Y

今日は勉強会の日と比べて、驚くほどに張れ自然観察日和となった。雨の日には雨の日の良さがあったが、やはり私は晴れた観察しやすい気候が好きだった。ヨモギやタンポポ、アワフキなどたくさんの生き物が観察でき、新しいゼミ性の人とも会話することが出来たので自分にとってはとても充実した自然観察になった。

観察会でとったヨモギの新芽を使い料理をした。パンケーキとお団子はヨモギの味が主張されつつも、生地との相性が良くとてもおいしかった。

夏にある観察会もこのように充実したものにしたい。

Z

ヨモギを採取して、味覚で味わうことが出来ました。

搜してみるとビオトープの周りにはヨモギがたくさんあることに驚きました。そのような身近な野草を五感を使ってふれあうことが出来たので良かったです。

他の似たような野草との見分け方は葉の裏が白いか緑かだと教えていただき、そこに注意して採取しました。

AA

タンポポも食べることが出来るのだとわかった。

ヨモギ（美味しかった！）を採るのが楽しかった。でも途中であきて、いろいろなものと触れ合えた。

虫とかも今日は晴れていたのでたくさんいた。

AB

【自然観察会】

今日は朝から晴れていて、とても過ごしやすい気温だった。ビオトープの周りは涼しい風が吹いており、春の訪れを感じた。前回の雨の日とは違いたくさんの虫を見つけることができた。チョウトンボやダンゴムシやモンシロチョウなど様々な虫がいたがその中でもアワフキムシが面白かった。

アワフキムシは泡で身体を包んで身を守っており、赤い体をしていた。

【ヨモギ入りパンケーキ、草団子】

ビオトープ周辺に生えているヨモギのやわらかい新芽を採り、それを使って、パンケーキと草団子を作った。

ヨモギ入りパンケーキはほんのりとヨモギの佳織があり、とても美味であった。草団子は少し苦いもあったが香りがよく、もちもちしておいしかった。

【まとめ】

春を五感で感じる事ができて、とても充実した時間だった。改めて、ヒトは自然に生かされていることを感じる事ができ、自然と共存することの大切さを学んだ。

AC

今日は天候もよく多くの生物を確認することができた。

タンポポやギンヤンマなどがおり春の生き物を見つけることが出来ました。はるの植物はおいしい植物が揃っており自然に感謝することが出来ました。ヨモギやタンポポなど春の味覚が揃っておりとても満足できました。

AD

今回は三回目だったから、ビオトープでヨモギを簡単に見つけることが出来ました。自分が見た生物は、セイヨウタンポポ、クサイチゴ、ヨモギ、ナメクジ、モンシロチョウ、イモムシ

その他に見られたもの

キビタキ、ツバメ、ヤマガラ、クロスジギンヤンマ、ヨツボシトンボ、イトトンボの仲間、ヤマトシジミ、クズ、カラスノエンドウ、スイド、ツワブキ、アケビ、ナエシログミ

一年ぶりにヨモギのホットケーキを食べたけど、多少苦みがあっておいしかった。

しかし、ヨモギの白玉は味がしなかった。

AE

今回は久しぶりに自然観察会でビオトープの中にあるヨモギを採取しました。ヨモギの裏の葉が白くて、キク科の仲間だったので、少しだけ、ヨモギの知識がわかったかなと思いました。他にもテントウムシを見つけました。パンケーキと団子を食いましたが、うまかったです。

【一般参加者】

AF

春の訪れとともに、新しい芽が…日本の食卓にはよく見ていたよもぎ団子、春の味覚です。我が家では最近食べることをしなくなりました。まあ、作らなくなったということになります。香りも楽しめて苦みも旨味に感じますね。他にも、食べられる野草のことを知りました。クサイチゴは5月にはたべられるようになり、普段食べているいちごとは違って、山道の中で自然に咲く花からなっていくと考えるだけでも口の中にひろがる味は何かを感じるのではないのでしょうか。五感で楽しみたいですね。ありがとうございました。次回もよろしくお願いします。

AG

今回の観察会ではまず、ハゼが秋季の赤色から春季に色が変わっていること、キビタキの鳴き声が聞こえることから季節の変化を知ることができました。そして実際の観察会ではヨモギの見分け方として、裏が白であること、取る時は、上の方が必要だということを知りました。ビオトープではヨモギ以外に、ウマノアシガタという植物を教えていただきました。この植物の金平糖のような実を見ることもできました。また、野生で一番早く実がなるクサイチゴも見ることができました。また、今まで見られていないような大きな水生昆虫が確認できたかもしれないということで今でも、生物の変化が見られることを学ぶことができました。ヨモギのアクは、他の生物に食べられないようにする重要な機能であると学ぶことができました。

AH

今回第 44 回自然観察会参加して楽しかったです。この活動を通じていろいろな食べられる植物を勉強しました。ありがとうございました。まず、先輩からビオトープのことを説明してもらった。入り口で先輩からヨモギ判断の方法を教えてくれた。ビオトープ入って自分でまわりでヨモギをいくつか探し出した。ビオトープでいろいろなトンボや蝶々を見てきた。中心はトンボだった。最初はきれいな感じを出て来た。次に坂井先生からこのビオトープは 12 年前、学生と一緒に作ったことを教えてもらった。最初は何でもなくて、全く自然の状態で 12 年管理通じて、今の状態となった。今までは、本当すごい感じ出て来た。それから、この活動を通じて、食べられる植物を何種類も勉強した。ヨモギについては、今日みんな協力して探したヨモギは集めてお菓子を作って出られた。おいしかった。また食べられるのはたんぽぼとかくずの新芽などを勉強した。たんぽぼは葉を食べられるし根も食べられるそうです。くずはつぶれる植物が普通は食べられないですが、新芽時は天ぷらするとか、和菓子するとか、おいしいです。最後に先生からビオトープは作ってから今まで出て来た野生の生物と植物を教えてくれた。そしてビオトープ維持の方法も説明した。本当すごかったです。

藤井 崇博、結椛、智久

いろいろみつけれられました。おいしかったです。はじめてだったけど、じょうずにできました。夏もできればきたいです。

AI

2017 年 4 月 29 日。晴。いい日である。

このよい日で福工大の第 44 回自然観察会に参加した。自然観察会というのは自然の様子を認知して、自然の色々なことを楽しむために主催された。私はこのような自然観察活動は初めて参加するので、相当に大変に勉強したと考える。この野外観察活動を通じていろいろな生物を知りえた。その中一番印象があるものはヨモギである。ヨモギというのはキク科の多年草である。別名はモチグサ、エモギ、サシモグサ、サセモグサ、サモセ、クレハグサ、モグサ、ヤキクサ、ヤイグサなどがある。坂井先生から聞いて、ヨモギの色は緑と茶色がある。様子と色が似ている植物もあるので、真剣に区別すると大丈夫だと思う。ヨモギは自分の特有の香りがあり、新芽の部分を食べるとおいしいです。今日はいろいろな参加者はヨモギの新芽を扱っているのので、原材料としてのホットケーキを食べた。楽しかったと思う。ヨモギの他の利用は、薬用である。Wikipedia によると、灸に使うモグサは、葉を乾燥させ、裏側の綿毛を採取したものである。葉は生薬で止血作用がある。若い芽は育ち始めた若い株は、干しておいたのちに煎じて飲むと、健胃、腹痛、下痢、貧血、冷え性など効用がある。

AJ

今回の自然観察会に参加させていただいてありがとうございました。まず、先生と先輩の説明されたあと、はじめて、ヨモギのことを知りました。そのあと、自分で探してみても新芽を採取しました。自分にとって全然知らないものに発見するから、採取するまで言わなくてもわかっていることは、知識を求めることを表します。本当にうれしかったです。そのあと池は10年以前に先生と学生たちのご協力の下で作った。ずっと雨で池が水がのこっていることを先生から言われました。ほんとうにびっくりしました。ほかに、この池こそいろいろな栄養分が出ていて、たくさんとんぼ、蝶と植物を育てていて、生命の偉大感を感じさせました。最後にホットケーキをいただいて、しかも自分で作ってみました。ずっとたのしんでいました。本当にありがとうございました。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。

第45回自然観察会

第45回福工大ビオトープと里山



自然観察会のお知らせ

※福岡工業大学・和白泉小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

福工大のビオトープと里山で自然観察や虫取り大会を行います。
ぜひ夏の虫たちと触れ合ってみましょう！

対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます。)
学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程:7月 8日(土)9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所:福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物)

お申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または草履)でお越し下さい。
また、汗が出る可能性があります。肌い服は出来るだけ脱げましょう。
当日は気温が高くなることが予想されます。水筒を持参して、こまめに水分を摂取してください。

問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.: 092-606-6166
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2017年7月8日に実施した夏の自然観察会の事前告知。

第 45 回自然観察会の概要

「生き物を見つけよう」

めあて：ビオトープの生き物と触れ合う

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール
日時 9:30～12:00
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生
参加者 29名
自然案内 田村氏 永松氏 小野氏 ((有)クラバード)

【活動内容】

9:30～9:45

9:45～9:50

9:50～11:10 A&Bに分かれて観察・昆虫採取

A 9:50～10:25 里山

A 10:25～11:00 ビオトープ

B 9:50～10:25 ビオトープ

B 10:25～11:00 ビオトープ

11:10～11:30 まとめ

11:30～12:00 アンケート記入、解散



第 45 回自然観察会の意見・感想

【学生】

A

今日の観察会では小学生以来の虫取りをした。改めて、いつも自分が生活している範囲から少し出来るだけで、自然がたくさんあると感じた。

B

今回の自然観察会で自然環境の違いにより生息する生物や植物が大きく変わってくることがわかったのでこれからは、その場の自然環境の状況を見てどのような生物がいるかを見ていきたいです。

C

2 回目の自然観察会の参加でしたが、多種多様な生物と触れ合うことができとても貴重な体験ができました。少年時代の気持ちを思い出して虫取りができたのでよかったです。

D

今回の自然観察会では自分のイメージしている夏と違ったものが見られた。
また、前回と全然違うと思ったところは虫の多さである。
やはり季節によって景色が違うのだなと感じることができた。
セミなどもおり、夏を感じることもできた。
また、ビオトープや草地、森などによっても生息する虫が違うことを知った。

E

今日の自然観察会では、ビオトープと里山、公園などで虫を取って観察を行いました。
ビオトープではカマキリやシオカラトンボが見られ、里山、公園ではカラスアゲハやバッタなどが見られました。
今日はたくさんの動植物が見られたので、やはり夏にたくさんの生き物が見られるなと思いました。

F

今日は里山とビオトープに入った。
里山では日陰と日なたで生息している虫の種類が違っていた。
セミが木にとまって鳴いているのを聞いて夏を感じた。
ビオトープは前回観察したに比べて水かきが増えていたので安心した。トンボやチョウも元気に飛んでいた。

G

皆とコミュニケーションもできるし、ちょっと暑かったんですが、ビオトープや公園で歩き回ってたくさんの昆虫を見ながら、虫捕まえて目で見て体感したのが楽しかったです。

H

今日の自然観察会では、前日まで続いた大雨の後とあって生き物たちは大丈夫かと心配であったが、多くの生き物たちを観察することができた。

まず公園（草地）では、数多くのバッタをはじめ、アブやモンシロチョウ、アオスジアゲハなどが飛び交っていた。また、ニイニイゼミも鳴きだしていた。

里山では、シマヘビ、カナブンなどがおり、公園（草地）とはまた違った生態系が形作られていることを実感した。雨の後であったため、地面はぬかるんでいたが、平地に比べて涼しかった。ビオトープでは、大雨の影響で水位が大きく回復し、オオシオカラトンボ、クロスジギンヤンマなど数多くのトンボが水辺を飛び回っていた。カマキリ、カタツムリ、カナブンなども見られ、夏を迎えたビオトープで活発に活動している姿が見られた。今回の観察会では、里山ビオトープの環境の違いによって生息する生物が違うこと、そしてその環境を生かして、生き物たちが活発に活動する様子が見られた。

I

蚊に刺される人がたくさんいる中、バッタやトンボ、チョウなどいろんな種類の虫やキノコや珍しい花も観察できて楽しかったです。まだ、参加した回数は少ないですがこれからいろんな季節の虫を観察したいです。

J

今日は非常に暑かった。虫網をつかっても一匹も捕まえられなかったのが残念だった。

K

自由に昆虫を観察することができました。

ネジレバナを観察しました。ランの仲間で、種は粉状だそうです。大学の近くでも観察でき、驚きました。この時期にたくさん咲くそうで綺麗でした。

オオシオカラトンボとクロスジギンヤンマの縄張り争いを観察できました。

アカメガシワにはオスの木とメスの木があるらしく、花と実の違いをみられました。

葛がもう花を咲かせていました。天ぷらにして食べるそうです。

環境の違いが昆虫の種類の違いにつながるそうです。

L

今日は里山・ビオトープ・草地で観察を行った。暑くなってきたので色々な生物を見ることができた。環境によって生息する生物が違って、水面がある場所、稲科の植物がある場所、草地などで違いを知ることができた。

次回観察をする時は「どんな生き物がどこで、どんな行動をしていたか」を見ていきたい。

M

木にたくさんの菌がついていた。ネジレバナはランの仲間、花は小さく色は鮮やかなピンク。花のつきかたがらせん状みたいだった。

ニイニゼミは裏面が白っぽい灰色。羽よりも体のほうが小さかった。

N

今回の自然観察会では、前回より虫などが増えていたと思います。自分は虫が嫌いだけどこれから、ビオトープに入る機会があると思うので虫嫌いが治るように頑張りたいと思います。

O

第1回目の自然観察会で、学校に来る前から、クマゼミが鳴いていて自然を感じました。まとめで分かったように、場所が一つ違えば、そこで生きている生き物が全く違う。またそこで生き物が何をしているのか、生きているために行っていることなどを次は注目していきたいです。

P

今日は以前の春の観察と比べチョウやトンボの種類が増え、昆虫たちも活発になっていた。草食動物を主食にしているカマキリやヘビと言った生き物も確認することができた。秋では昆虫たちも少なくなるのでどんな動物がいるか気になります。

Q

今回のビオトープ活動を通して、自然観察を行って、自然の大切さに再び気付くことが出来ました。様々な昆虫に触れ合っとても良い時間になりました。普段から足元の虫を気を使いながら見ていきたいです。

R

前日まで天気が非常に悪かったが、今日は少し晴れて蒸し暑く、観察に適した気候になった。最初に行った里山では、バッタやアリ、チョウやセミが見られた。捕まえて観察しようと思ったが、あまり捕まえられず、友達に見せてもらった。次に行ったビオトープでは、草に静かに止まっているセミや、チョウなどが見られた。いつも通りトンボが沢山富んでいて、自然豊かだなどと思いながら観察していた。普段虫があまり好きではない私が虫や自然と触れ合う機会がこのような場しかないので、次回からも自然観察会の時間を大切に過ごそうと思った。

S

草花がたくさん咲いていた。夏になって色々な生き物を見ることができて良かった。

T

公園は気温が 30℃くらいあり、日差しが強くジメジメしていた。あまり人が入らない公園は草が生えていて、バッタやクロアゲハなどが観察できた。里山は 2℃程気温が低く感じた。シマヘビなどを観察できた。ビオトープは前回観察に来た時よりも水が増えていて、とてもジメジメしていた。カマキリやトンボなど、多様な生き物がいた。

U

最初は公園と里山に行った。公園では、ちょうちょが沢山いて、らせん状に花が開くめずらしい花を見た。里山に入る途中の階段にシマヘビがいた。ビオトープでは、八つ足のクモみたいな見た目だったけど、クモの仲間ではなかった。

V

昔ビオトープに行ったときに比べ、生き物が違っていたり、日の当たる場所では落ち葉の色が違うなどの変わった姿を見ることができました。昨日までの雨の影響が昔ビオトープに行ったときは池に水が溜まっていなかったが、今日の自然観察会では季節とともに自然も変わっているのだなと思いました。

W

蚊に 20 か所くらい刺された。里山やビオトープを回って探したが、草むらにはバッタや蛾といった種類が多く、存在し、雑木林にはきのこ類や昆虫が多く存在した。しかし、一番多いと感じたのは蚊だ。

X

昨年の夏の自然観察会に参加できなかったのが、今年は参加できて本当に良かった。トンボが多かったのはもちろん、春のイメージを勝手に持っていたチョウが沢山飛んでいたのは驚きだった。カラスアゲハが速いけれど大きいからか飛び方が優雅だった。アオスジアゲハは家の周りではあまり見ないけれど、今回よく見られて、色がとてもうつくしかった。チョウの種類にあまり着目していなかったが、ベニシジミやモンシロチョウもいて、面白かった。自分は虫を捕ることはしなかったが、参加された方が、シオカラトンボやアオスジアゲハ、カマキリをつかまえていた。特に飛ぶ虫は近くで見られることがあまりないので、おおきさとかをすごく見られた。最後の説明で、植物と虫の関係を意識することと言われたのが、なるほどと思いました。森林の事を勉強するにあたって、全体を見るのが大事で、でも、観察する時は虫にすごく注目していた。虫に注目するにあたって、植物などとの関係もその虫の特徴なので、もっと学んでいきたいと思った。そういったことを知っている事が、コミュニケーションをとるきっかけにもなるので、頑張っていこうと思った。

Y

今回の自然観察会はいつも通り、ビオトープと里山の観察で夏ということもあり、とても暑く、汗だくで、みんなに蚊が集まって、非常にうざがゆかったです。夏なので、クワガタやカブトムシを期待したのですが、さすがに簡単に見つかるわけではなく、チョウやセミ、トンボがほとんどでした。唯一クワガタのメスだけは、他の人が見つけていたので、頑張って探してはみたものの、成果はお察しくださいといったところでしたので、非常に残念です。

Z

今日の自然観察会は里山、ビオトープの生き物と触れ合いました。くもがよく捕食しているところを見ました。外見が気持ち悪い生き物が多かったのも夏の特徴なのかなと思いました。

AA

今回の自然観察会はビオトープに沢山のトンボが飛んでいたり、クモやカマキリ、アワフキムシなど観察することができました。里山ではすごいセミが鳴いていました。二回目の自然観察会ですが、たくさんの生き物がいたので良かったです。次回は秋の観察会なので、秋しかない生き物など観察できるように積極的に観察していきたいです。

AB

沢山の生物を見ることができた。草も昆虫も元気で生命を感じた。

AC

今回は皆が見つけた生き物をけっこう見ることができたからよかった。アリジゴクは幼虫で成虫はウスバカゲロウということを知ることができたから、また参加して新しい発見ができればいいと思った。

AD

今日はビオトープと里山に行きました。ビオトープでトンボを捕まえました。捕まえたトンボはクロスジギンヤンマでした。色は青々していて鮮やかでした。里山では、草地にシヨウリョウバッタがいました。他にも、ミレシジナやシャクトリガの幼虫もいました。久々に生き物が見られてよかったです。

AE

今回自然観察会で思ったことは、年を重ねても、童心というものは残っているのだなということです。私は、子供の頃は住んでいる場所に自然が豊かであったため、よく虫を取りに行ったりしていました。しかし、年が経つにつれ、携帯ゲームなど享楽に興じていき、外で虫を捕ったりなどしなくなっていました。しかし、今回久しぶりに虫取りをして、最初こそ暑さに負けて早く終わればいいのかと思っていたのですが、しだいに、クロアゲハを捕ることに必死になり、一生懸命に追いかけて行ったりするようになっていました。こうしたことから、たとえ、年を重ねても、童心というものは残っているのだなと思いました。

AF

今回、ビオトープではシオカラトンボやカマキリなどを観察することができた。また、梅雨の時期ということもあってか、カタツムリを多く見かけた。里山では、アゲハやクロアゲハ、さらにはクワガタまで見つけることができた。普段こうやって生き物と触れ合うこともなかなかないので、今回色々な生き物を観察出来てよかった。

※今回は、北部九州豪雨の直後の自然観察会開催であったため、一般の参加者はありませんでした。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。

第46回自然観察会

第46回福工大ビオトープと里山

自然観察会のお知らせ



主催者

福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会

内容

福工大ビオトープや里山の観察を行います。
秋の植物や紅葉など、秋色に染まったビオトープ内を一緒に
散策した上、**草木染め**に挑戦してみませんか？

対象

- ・地域の皆様
(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
- ・学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程: **10月14日(土) 9:30~12:00**

※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学 A棟 1階 A13教室

(A棟は校門から入って一番奥の建物です)

参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
また、ハチやアブなどが出る危険性がありますので黒い服は
避けるようお願いいたします。

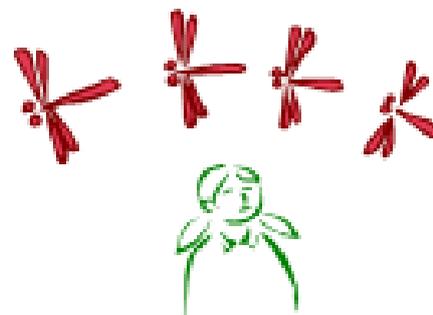
お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井宏光

Tel. 092-606-6186

Fax. 092-606-6497

E-mail. sakai@fit.ac.jp



2017年10月14日に実施した秋の自然観察会の事前告知。

第 46 回自然観察会の概要

「Let's 草木染め」

めあて：自然の色を楽しもう

活動場所：福岡工業大学 A棟1階 A13 教室 ビオトープ A棟ホール

時間：9:30～12:00

大学担当者：坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者：30名

自然案内：田村氏 永松氏 ((有) クラバード)

【活動内容】

08:30～09:25 メンバー集合、事前準備

09:30～10:00 開会の挨拶

10:00～11:50 草木染め、観察

11:50～12:00 まとめ、解散



第 46 回自然観察会の意見・感想

【学生】

A

今日は、前よりも生物がいて、バッタやコカマキリ、ヒメガマがいました。他にも、ジョロウグモとセイタカアワダチソウがありました。草木染めでは、前は黄色のセイタカアワダチソウでやりましたが、今回はススキを使った茶色のほうにしてみました。自分の作品は大分染まったので良かったなと思いました。染まり具合もよかったです。他の色で染めたらどんな色になるだろうと不思議にも思いました。

B

今回の自然観察会の感想として、前回の草木染めの時と比べて、うまく色を出すことができたということがあります。私は、去年の自然観察会の草木染めでは、セイタカアワダチソウの色に染めようとしていたのですがあまりうまくいかず、殆ど色が付きませんでした。そのため、次の草木染めでもはじめはうまく染まらず、今回もだめだなと思ってしまいました。しかし、二度、三度、鍋につけているとしっかり色が付き、見事リベンジを果たすことができました。そして、草木染めでも、色を付けることができるのだな、ということを実感することができました。

C

本日は草木染めを行ったが、染めるというほど、染まらなかった。どちらかというと汚れとも、とれるように感じた。専門家の方の草木染めをした布を見せてもらったが、ここまで違うものなのかと感じた。私の場合は薄く色がついていましたが、専門家の方の作品はしっかりと色がついていた。

ビオトープ内でも冬が近づいている影響からか、昆虫の数が少なく、少ししか観察できなかったが、クモだけは上横を見たら、ほぼいたのでびっくりしたが、まだいるので、クモは冬眠しないのかと疑問に思った。地面を掘ったら冬眠中の昆虫群がいるのだろうか。

D

秋になり、夏とは違う生き物がいた。肌寒かったが、秋らしい感じで観察を行えたと思う。そして今日は植物を用いて、布に草木染めを行った。染める時間が短く、色が薄くなってしまったが、良い経験となった。専門家の方が持ってきていた染まった布を見たが、輪ゴムを使って染めており、きれいな模様が出ていた。他の植物で染めてみたいと思った。

E

ジョロウグモ(でっかい)

今まで嫌いによくみたことはなかった。けれど近くで見ると、お尻の模様がすごかったり、背中が独特だったり新しい発見をすることができた。途中まででしたが素を作っているところも見ることができた。

草木染

煮だしているときの色がきれいでした。思っていたよりは染まってなかったので、機会があればきれいにそまるように挑戦したい。お手本で見せてもらったものがすごくきれいに染まっていた。あと、寒かったので布がすごく熱く感じた。

F

今回はビオトープの観察をしているなかで蜘蛛の糸を出し、巣を作る様子を観察しました。その雲はメスの方が体が大きいという特徴があり、他にもメス同士で喰らい合いをする(共食い)と聞いたことがあり、興味を惹かれました。

また、草木染は初めての経験であまり模様はつきませんがいい体験ができたと思います。

G

今日は草木染をしたが、染まっているが微妙だったが完成品を見ると、とてもあざやかに染まっていて、自然の草木がもつパワーを感じた。ビオトープでの生物観察では、ジョロウグモをかなり間近で観察することができた。

H

今回は前回あまり染めることのできなかつた草木染めができるとあって楽しみにしていた。まずビオトープで観察を行ったが、天候が曇りで気温が低かつたことから、あまり生物は見られなかつた。今回観察できたものとして、カマキリの卵、ジョロウグモ、キジ、バッタなどが見られた。

そして、今回のテーマであつた草木染めを行った。今回草木染めに用いたのは、ススキ、セイタカアワダチソウの2種類であつた。セイタカアワダチソウの方はあまり染まらず、かすかに黄色の模様がつく程度であつた。ススキの方は若干昨年よりも濃く染めることができた。昨年同様あまり染まらなかつたが、普段できない体験ができよかつた。次回冬も冬ならではの観察をしていきたい。

I

秋のビオトープは、春と夏とは違つて生き物が少なく感じた。草木染めはススキの色がよく出ていた。少し草木染めに興味を持った。

J

草木染めは何回か体験したけど今回も楽しめた。きれいに染められてよかったです。ビオトープではバッタやクモなどがいたが今の季節は虫が少ないと思った。小さな花も咲いていた。雑草などは一年中はえているんだと思った。また、こういう機会があれば参加してみたいと思った。

K

夏と比べて虫の量が多くなく、頻繁に見かけることがありませんでした。今の時季は多くの色の植物が見ることができて秋を迎えているのかなと思いました。自然の色を楽しむことができた。草木染めを通して季節を感じることができました。

L

去年も参加したのですが、思ったように中々色が布にうつりませんでした。しかし逆に来年の工夫点も見つかったような気がします。また草木染めの段取りや調整がわかったので来年に活かしたいです。今回はセイタカアワダチソウ、ススキ、サクラの落ち葉を集めて煮だしましたが量が少なくて中々染まらなかったです。ビオトープの観察ではカマキリの卵が4つほど見付き、季節の移り変わりを感じました。

M

秋の里山地方にはカマキリの卵やアリ塚など冬のための準備をしているものなどがあり、夏に多くいたセミやトンボは姿を見せなかった。冬にはどんな生き物が見られるか気になりました。

N

去年、草木染めの日に来られなかったので、今年は参加できてよかったです。染めること自体やった事がなかったので、うすかったけれどあんなに植物から色が出ることに驚きました。特に、桜はすごく身近なので、見る以外に楽しみ方があることを知りました。今回は準備する側だったので、植物に触れながら実際に染めることができ、こうやって自然に触れながら楽しむことが情緒を豊かにするのかなと思いました。

ビオトープの方では、最近観察がちゃんとできていなかったなので、虫を沢山見つけられ、久しぶりに楽しみました。

O

今日、ビオトープではカマキリの卵、モンシロチョウ、ハチ、アリ、ジョロウグモなどを観察することができた。草木染めでは、ススキや桜を使って布を色につけていった。布は始めに豆乳にひたして、できるだけ自然のものを使っての着色を行った。少し色がうすかったが、布を結んだりすることで模様の変化を楽しむことができた。また機会があれば草木染を試してみたい。

P

昨年も草木染めに参加し、あまり上手く染まらなかった記憶があったが、今回は綺麗なうすい赤と黄に染まっていたと思う。柄などは昨年つけたが、あまりはっきりとはつかなかったので広げてやってみた結果前に書いたように綺麗に染まった。今日染めるために使用した植物以外にも植物の種類はたくさんあると思うので機会があれば、また草木染めにチャレンジしてみるのもいいかなと思う。

Q

草木染めは初めてだったので、結び方がうまくいかず、あまりきれいに染まらなかったが、自然の染料だけで上手く染まっている人もいて、人と自然が共生していることが実感できた。次の機会があったら今日よりうまく染められるように色々工夫してみたい。

R

今回は、遅れてきてしまったけど草木染めに参加できてよかった。鍋に入れる時間が短くて色があまりつかなかった。

S

私はビオ研としての仕事に従事していたため、直接染色はしていないが、観察会に参加することで様々な知識を得られた。来年の観察会にも生かしていきたい。ビオ研としては、TKの不足や日程の把握不足が目立ったので改善していきたい。

T

そめものたのしかった。

U

今回は気温も高くなくとても観察しやすい気候だと思いました。草木染めは初めての体験であり、ススキの色など自分の思った以上に色に染まって感動しました。簡単な作業でできるので、今度やってみようかと思いました。観察会は秋特有の虫や植物を目にすることができてよかったです

【一般参加者】

V

自然に親しく近づいて観察は初めてなので、たくさん見たことない植物も動物も出た。サクラの落ち葉の色は茶色から黄色、黄色から赤色まで変わって、本当に不思議だと思う。植物も染色に役を立てて、自分自身で体験したとすごく感動した。

W

本日の自然観察会は素晴らしいと思います。たくさん種類の植物は初めて見ました。カマキリの卵とかカメムシとか、ソーセージのような植物とかきれいで、不思議だと思います。それに、秋の色も見えました。葉の色は黄色、赤、茶色など鮮やかできれいだと思います。それだけではなく、自分で布を染めるのも初めてです。だから、好奇心があります。面白いですよ。出来上がった布を見ると、うれしくて満足しました。とても充実な時間だと思います。

X

子供が、生き物大好きなので参加させていただきました。カマキリやバッタがいて楽しそうでした。先生にもいろいろ教えていただけ良かったです。

草木染も初めてだったのですが、本当に葉っぱから色が出てびっくりしました。身近な自然について、もっとよく見る週間って大切だなと思いました。普段の生活の中でちょっと気にしながら、楽しいことを見つけようと思います。ありがとうございました。

Y

カマキリの卵やオオカマキリ、ムカゴなど色々なものが見られてよかったです。しぼり染めなんかもやってみたくなりました。玉ねぎの皮がすごくきれいなオレンジ色でぜひ試してみたいと思います。

Z

先日、町内会の回覧板で今日の催しを知りました。ビオトープという言葉はあまり聞いたことはありませんでしたが、毎日近くの賛同を夫婦で散歩したり、近くの低山に行ったりしていますので自然には興味を持っています。近く（歩いて 5 分）に住んでいますので次の機会にもぜひ参加したいと思います。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。

第 47 回自然観察会

第47回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ

主催者 福岡工業大学
和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容 福工大ビオトープや里山の自然観察をします。
ビオトープや里山にある植物のツルを使って
かご作りを楽しみましょう。

対象 地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
学生及び大学関係者の皆様

日程・場所 日程: 12月9日(土)9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室
(後門から入って一番奥の建物)



お申し込み 参加費無料
事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い 当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

問い合わせ 福岡工業大学・社会環境学部
坂井 志光
Tel.: 092-606-6186
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2017年12月9日に実施した冬の自然観察会の事前告知。

第 47 回自然観察会の概要

「昔ながらの文化を体験しよう」

めあて：クズでカゴを編んでみよう

活動場所	福岡工業大学 A 棟 1 階 A13 教室	ビオトープ	A 棟ホール
時間	9:30~12:00		
大学担当者	坂井宏光先生	ビオトープ研究会の学生	
参加者	44 名		
自然案内	田村氏 永松氏 生田氏 小野氏	((有) クラバード)	

【活動内容】

8:30	ビオ研メンバー集合
9:30~9:45	会長挨拶、説明
9:45~9:50	移動
9:50~10:30	クズの蔦を採集
10:30~11:40	クズのカゴ作り
11:40~12:00	アンケート書き、まとめ、会長挨拶
12:00	終了



第 47 回自然観察会の意見・感想

【学生】

A

今日の自然観察会では、ビオトープは寒いせいか、生き物はあまり見る事ができませんでした。葛は沢山採集できたので良かったです。葛を使って葛籠づくりはできなかったが、前作ったのを思い出しました。自然観察会は終わりですが、またいつか参加したいと思いました。

B

冬のビオトープは生命力を感じられず、とても殺風景でした。
葛籠は難しかったです。昨年はずくつくもらい、なんとかできましたが、今年は十字架みたいな形になってしまいました。

C

今日は久しぶりに葛籠を作りました。去年は鍋敷きになってしまいましたが、今回は縦状の細長い葛籠ができたので、前よりはましになった方だと思いました。生物は、秋の自然観察会とそんなに変わらず、見つかりませんでした。冬なので、冬眠しているかもしれないと思いました。最後でしたが、楽しかったです。

D

今回の自然観察会では、一年ぶりにくずかごを作ったのですが、昨年とは違い、うまくできませんでした。去年は最初は鍋敷きになるところでしたが、最終的にはそれなりに形の整ったかごになりました。しかし今回は最後の自然観察会ということで昨年より良いものを作ろうと思うあまり、焦りが出たのか、なかなかうまくいかず最終的には鍋敷きのようになくなってしまいました。ですが、とても楽しんで行えた自然観察会でした。一年間本当にありがとうございました。

E

今回も素晴らしい籠を作ることができ、改めてクズの丈夫さがわかりました。
葛探しは途中から来たので、あまりできなかったのですが、かごとして実際使えるのもっとこの籠づくりが広まると良いと思いました。

F

3 回目の葛籠作りでした。年々かごではない何かになる傾向があるようで…。年に 4 回しかない自然観察会、今年最後の観察会楽しかったです。

G

今回の自然観察会は葛籠を編んだが、生木を集める時点で大変だった。生木がほかの木に絡まったりしていたので、取り外すのが大変そうだった。葛籠は去年の自然観察会でも作ったが、その時はほぼ鍋敷きという感じで納得のいかない結果となってしまったが、今回は縦長ではあるが籠という形になったので、納得のいくような結果になった。

昆虫等はクモしか見つけることができなかったので今はサナギか卵か土の中でどうみんをしているのかなと、見つけられなかったので思ったりもしました。

H

3度目の籠作り楽しかったです。年々上達しています。寒かった。ありがとうございました。

I

かごあみ体験は2回目だったが、前回よりも上手にできてよかった。ビオトープは冬の季節に変わり、生物たちも静かだった。草木は枯れてきているものも多かったが、新芽を出そうとしている草木も見られた準備をしているのだなと感じた。

J

秋に観察した時より、木に葉が少なくなっていて手がかじかむほど寒かった。石をどけると虫がいたが、パッと見ただけでは生き物の気配は感じられなかった。

葛籠は前に一回作ったことがあるので、うまく作れたと思う。

K

今回は葛でかごを編んでみるというめったに体験できないことをやった。思いのほか柔くて変にてこずった。自分が持ってきたバナナが活躍してよかった。

L

この時期になると虫は姿すら見せてくれませんでした。

葛籠は単純な作り方でしたが、単純な作業ほど難しいものはないのでとてもてこずりました。でもとても楽しかったです。次は冠などにも挑戦したいです。

M

前来た時に比べて水が減り葉っぱが枯れていて違うビオトープを観察することができました。

N

観察会前にカマキリを見ましたが、動きがだいぶ鈍くなっていました。植物もだいぶ枯れているものも多かったですが、その中葛のつるで楽しみがあるのはいいと思いました。今回は中国の院生の方々と話すことができ葛を探してみたり、かごを作るのを楽しそうにされているのが自分としてもうれしかったです。ビオトープに関しては、ガマの種にも興味を示してくださいました。中国の農村ではこういったつるのかごを普通に作っているみたいで「こっちは使わないのですね。」といったことを言われたので自然から離れた生活が浸透していることを感じました。でも葛についての説明を聞いて現代でももっと活用できたらいいのと思ったし、自分の研究対象にしようかとも思いました。繁殖力の強い葛を使うことでバランスが取れていたことも興味深いと思いました。

O

今日はクズで籠を編んだ。土台作りが一番難しかった。去年作った籠は飾っていたら家族が歩くたびに落としていくので今年は強度を強めました。また、一年を通してクズはよく使われ、私たちにとって身近な植物だということが分かった。春夏秋冬の観察会では季節によって見ることでできる生き物や見つけた植物の中では日常で使うことができるものや、食べることができるものがあることから、いろいろな視点から見たり、自然と触れ合おうと思います。

P

今日のカゴ編みはうまくいかず、難しかった。ので、クリスマスリースを作った。ほかの人はそれぞれ個性的なのができているだけで楽しむことができた。機会があれば温かい場所でもう一度してみたい。

Q

今日は年に最後の自然観察会でした。来年もできるだけ参加したいです。一年間ありがとうございました。

R

今日の自然観察会を終えての感想は、クズ籠を作ったけれどとても難しくあまり上手にできなかったの、また作る機会があればもう一度作りたかったです。

S

寒い中、手をかじかみながらの籠を作ってみたけど、自分は全くうまくできなかったけど、周りの人の作品を見てどれも上手にできていてクズから一つの作品を作って楽しむことができました。

T

今回の自然観察会は、昨年と同様にクズ籠旁を行った。最初にビオトープに行き、クズを集めるとともに観察をしたが、ビオトープがいつもと違って見えた。冬だったからなのだろうか、水も少なく生物も少なかった。クズ籠作りは昨年に行ったことがあって鍋敷きになってしまったこともあり、今回は気合を入れて作ろうと思ったが、結果鍋敷きにもならなかった。

このような経験はとても貴重だと改めて感じる観察会になった。

U

ビオ研ながら初めてのクズ籠編みであったが、クズの特性やそれを利用した昔からの活用法など知ることができた。話によればクズは繁殖力が強く外国では侵略的外来生物にも指定されるなど、害のある植物としての一面も持っているようだが、このように日用品としても使用できるため、自然と接するという意味でうまく接していく必要があるなど感じられた。

V

今回は今年度最後の自然観察会が行われた。気温もかなり低い中、大勢の参加の下、近亜紀はクズ籠づくりをメインに取り組んだ。ビオトープにあるクズをまず取ってから、専門家の指導を受けながらクズ籠づくりを行った。私は昨年もクズ籠づくりに参加したが、なかなか上手くできなかったため、今年こそは上手く作りたいなと思って臨んだ。クズを5本集めて、編んでいったが、途中上手く編むことが出来ずビオトープ研究会の人にも手伝ってもらいながらなんとか形になった。形こそきれいではないものの、楽しく皆とクズ籠作りに取り組むことができ良かった。このクズ籠作りを通して、植物を見る、触れるだけでなく、利用するという貴重な経験ができた。今後も五感を使って自然に親しむだけでなく、自然を利用するということにも取り組んでいきたい。

W

- ・クズで籠を編むのは、難しかった。
- ・前来た時より、ビオトープが変わっていてびっくりした。
- ・寒かった。

X

つるでかごを作る工程を知ることができた。自然に触れ合うことができた。

Y

今日はクズで籠を作った。枯滝でも有効に活用することで、生活で使えるものができることに驚きました。

ビオトープの観察も行いました。草が枯れているものが多く、夏とは全く違うビオトープになっていました。

Z

今日はとても寒い中での観察会だった。

籠作りを1から体験をし、とても大変だった。みなさん、すごく上手にできていたので尊敬しました。

AA

とても寒かったですが、冬の生き物や植物をかんさつできてよかったです。クズ籠編みたい県は初体験でもあり難しかったのですが、とても良い経験になったと思います。

AB

寒かったが、冬ならではのビオトープを見ることができたと思う。

かごあみは難しかったが、なんともそれっぽい形にすることができてよかった。

AC

夏と冬のビオトープの様子が違った。

クズでの籠作りは難しかった。

今後もクズをもっと活用したいと思った。

AD

今日の自然観察会は籠を作りました。

籠作りはかなり難しかったですが、最終的には上手くできたのでよかったです。

ビオトープは夏参加したこととまったく違っていて驚きました。

AE

クズ籠編みがかなり難しかった。

作業中で夢中になっていた。

AF

籠作りでは、つるの長さ、形の整え方などがとても難しかったです。

【一般参加者】

AG

本日の自然観察会はよく勉強して、楽しかったです。ビオトープの現地で見たヒメガマの穂は可愛かったです。手で触ったらふわふわしているのを感じました。ビオトープの現地から取ったくずでかごを作るのを見ました。すごく面白かったです。面倒くさいことを全て忘れて、自然の中に入れました。最後まで可愛いかがごができました。体験会に参加してすごくいいと思いました。楽しかったです。

AH

とても楽しかったです。つるでリースを作ったり、籠を作ったり、初めての経験で新鮮でした。子供にはどんどん自然に触れて、自然からたくさんを学んでもらいたいと思います。

スタッフの皆さま、とても親切にしてくださりありがとうございます。また参加しますのでよろしくをお願いします。

AI

かがあみの出発点が難しくて何とか形になりました。未完成ですが帰って完成させたいと思います。寒くて鼻水を落としながら編みました。とっても集中できたいい時間を過ごせました。ありがとうございました。

AJ

いつも気になっていた会に参加できてよかった。

葛は家の前に昔は沢山ありましたが、家ばかりになり早く親しんでおけば良かったと思います。籠は未完成ですが、家で作り、庭で使いたいと思います。

次回も日程が合えば参加させていただいて、自然を楽しみたいと思います。

我が家の横に川があります。このごろまた「ほたる」が飛ぶようになってきました。自然に親しんである学生が多いことにびっくりしました。

ありがとうございました。

AK

遅れての参加でしたが、初めてかがご作り体験出来て楽しかったです。葛がこんな使い方ができるって知らなかったです。自然観察会も普段かかわることができないので、次は3歳の子も連れて一緒に見られたらいいなと思います。

AL

子供(3歳)と参加しました。籠を作り、とても楽しかったです。子供の籠編みしている周りで自由に遊んだり、つるで冠を作ったりして生き生きと過ごさせていただきました。ありがとうございました。

AM

数年ぶりに参加しました。ビオトープは夏の景色のイメージが残っていましたが、今回は池の水が少なくなり、茶色の草木が増え、変化を感じました。葛籠作りではクズの自然のものとは思えない柔軟さと便利さに驚きました。

AN

本日の自然観察会はいろいろ勉強になりました。ビオトープでは色々な植物を観察して、魅力をいっぱいさがしてもらいました。例えばガマという種で、春の方では色が赤っぽい感じでした。形はソーセージと同じ感じです。その後は、綿の弾けた姿がとてもきれいだと思います。それから葛籠を編んでみる体験がすごく面白いと思います。外ですごく寒かったけどやる気いっぱいです。その後に頑張って美しい籠を編みました。すごくうれしいと思います。大変感謝しております。

AO

池を観察しながら、葛を探しました。楽しかったです。後輩と一緒に籠を作りました。楽しかったです。この機会をくれてありがとうございます。

AP

本日の自然観察会はとてもいい経験だと思います。美しい思い出を作って楽しかったです。寒かったですが、先輩と一緒に葛で三つの籠を作って大満足でした。出来上がった習慣がとても嬉しかったです。冬なりの様子を観察できて、色々な人と触れ合って、充実した時間を過ごしました！

AQ

本日の自然観察会に参加して本当に大変勉強しました。ビオトープに行って、見て、感じました。冬の自然の魅力がわかった。

観察会の中で社会環境学部の二年生木下澄香さんと葛の話をした。私は中国の学生なので中国の北部と日本の福岡は、気温、天気が大体同じなので、葛もいっぱいある。その後、先生と一緒にガマの種を見ていた。先生は色々なガマの話を教えてくれた。大変勉強になった。

最後はグループを分けて葛籠編みをした。専門家の支持の下で進めた。ティティさんは以前学校でビオトープの活動のことをやったことがあるので、ティティさんのおかげで、良い籠ができた。それが良かったと思った。

AR

鍋敷きを編んだ。楽しかった。

※アンケートを記録する際、明らかな誤字脱字でない限り、参加者が記述した表現をそのまま記録しています。